

第14回千葉県脳卒中等連携の会によせて



千葉県健康福祉部
保健医療担当部長 井口 豪

皆様には、平素から本県の健康福祉行政の推進及び新型コロナウイルス感染症対策に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、本連携の会につきましては、今年度で14回目の開催ということであり、この間、千葉県共用地域医療連携パスを活用した医療介護連携の仕組みづくり等に対し、継続的に、かつ、熱意をもって取り組んでいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

さて、国では、令和6年4月から始まる第8次医療計画の策定に向けて、在宅医療の体制構築に係る指針の見直しを検討しており、医療介護連携についても、更なる充実が図られるよう、議論が進められています。

そのような中、県としても医療介護連携の促進は重要な課題の一つと認識しており、地域の多職種が連携して行う「入退院支援の仕組みづくり」や「かかりつけ医、在宅医療等の啓発活動」等について支援しているところです。

本会は、地域における取組の情報発信の場であるとともに、専門領域を超えて多職種の連携を促進する機会でもあり、非常に多くの方が参加されていると伺っています。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を考慮し、3年続けてのオンライン開催となりましたが、「継続のための連携」をテーマに、多職種が取り組む疾病管理について皆様がそれぞれに、工夫を重ねながら取り組まれてきた成果を共有できる貴重な機会となるものと期待しております。

本会で得た知識・経験などを現場や地域で活かしていただき、当事者及び家族の皆様の意向を踏まえた医療・介護サービスの提供に、連携して御尽力いただければ幸いに存じます。

本会が皆様にとって実りあるものとなりますことを祈念いたしまして、結びの言葉とさせていただきます。